



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

- ・4月の援農は、1531.5時間(内12時間は無償研修)でした。
- ・援農依頼のあった農家は9軒、援農参加者は41人でした。
- ・作業内容は、野菜販売補助、エンドウの作業(紐張り、日よけ、支柱立て)、定植(ナス、ピーマン、トマト、かぼちゃ、レタス、など) 植え付け(里芋、じゃがいも)、種まき(とうもろこし、いんげん)、収穫(大根、きゅうり、レタス、のらぼう菜、ねぎ、トマト、かぶ、ほうれん草、菜花、サニーレタス、山東菜、チンゲン菜)、堆肥まき、苗の世話、里芋毛羽取り、出荷調整、栗林片づけ、などです。

①パソコン講習会(台町市民センター)

援農募集をホームページ上から見るために操作方法等の講習会を2回行います
5/24(金)14:00~16:00、6/1(土)18:00~20:00

②映画「モンサントの不自然な食べ物」上映会

7/3(水)開場18時30分、上映19時。クリエイトホールの大ホールにて。
入場料:大人1000円/人、大学生以下500円
売れ行き好評につき、6/29(土)14時~16時川口市民センターでも上映します。

③旬菜会料理教室 7/6(土)10時~12時台町市民センターにて

地場の野菜を使った料理教室。参加費は800~1000円(材料費)



新しく入会された方々

山下智史さん(丹木町)、加藤真帆さん(鍾水)、遠藤宏子さん(台町)

援農体験記

みかん農家だった父

鍾水 大石弘枝

私の父は静岡の農家で、みかんと桃、少しばかりのお茶を作っていました。私も子供の頃、渋々収穫を手伝ったし、親戚の人にお手伝いに来てもらったこともありましたが、生産過剰、価格低迷、後継者問題、高齢化、都市化等々の問題をかかえ、今では、実家の裏にみかん山が少し残っているだけです。自然栽培、無農薬といえは聞こえはいいですが、18年前父が亡くなり、手入れが行き届かなくなり、わずかに実ったみかんを、収穫するだけになっています。毎年枯れていく木を、ただ手をこまねいて見ているだけで、生前もっと父からいろいろ教えてもらっておけばよかったと後悔しています。

小、中学校の総合学習に関わり、八王子市も農地の減少、農業者人口の減少、後継者問題等を抱えていることを知りました。すずしろの存在を知り、私でも何か少しでもお手伝いできることがあれば、と思い、昨年7月に入会させていただきました。夏のブルーベリー、桑の葉からはじめ、スナックエンドウ、花、里芋の毛羽取り、草取り、等々やらせていただき、改めて収穫の喜びを知り、農家のご苦労も見聞きし、いろんな方に出会い、いろんなお話を聞かせていただき、貴重な体験をさせていただいています。

理事会・分科会だより

第5回理事会開催 5/11(土)17:00~19:10
(市民活動支援センターにて 理事9名 監事1名出席)

- ・援農事務の分担・手当配分について
- ・中間決算報告書の申請について
- ・7/3の映画上映会の誘引状況
- ・7/6料理会について
- ・ホームページ上で援農依頼と援農応募状況を見られるようにしたことの報告

第3回IT&広報分科会開催 5/14(金)13:00~16:20
(台町市民センターにて 理事2名 会員2名出席)

援農募集状況表及び実施に伴う講習会の開催と新しいホームページについて

お知らせ

・4/24(水)八王子テレメディアの番組「デイリー八王子」で長井理事、石倉理事、飛田理事が会の紹介をしました。

5/26(日)18時からNHK BS1の番組「COOL JAPAN 発掘! カッコいいニッポン」で、第三小学校の調理実習の様子を放映します。調理材料の中には、和田農園から提供された野菜も使われています。再放送は5/30(木)14時から。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

畑のマネー

石川町 和田昇

(質問形式でいろいろお聞きしました。カッコ内は質問です)

①(畑の中は硬くなるからなるべく歩かない方がいいのか?)トラクターでうなるから大丈夫。用がなきゃ歩かないんだから。ただ、行ったり来たり、ちょこちょこ歩いてると効率が悪いよね。慣れれば、コンナをちゃんと持っていったりして、歩かなくなる。前の畝と、後ろの畝を同時に振り返りながら作業するのはやめた方がいい。畝の片側をきっちり一列端から端まで片づけないと気持ちが悪い。マルチの向こう側に手を伸ばして作業する人がいたけど、疲れるし、うまくいかない。②たばこの吸い殻は、畑に落とさないこと。実は、10年前まで自分がやってたけど、息子に『タバコの吸い殻の落ちた畑の野菜を誰が食べる』と言われ、やめた。③よその畑に入らないこと。畑に集合で来てもらおうと、ついよその畑に単車を停めたり、歩いて入ったりする人がいるけど、農家にとっては、畑はのっぴらじゃなくて敷地。農道は、お互いが半分ずつ草刈りすることになっている。法面や境界は、農家にとっては、重要なこと。④(畝はまたがない方がいいのか?)作物が植わってたら、まずまたがないし、芽が出てなくても、自分が疲れるから、やっぱりまたがないね。一人でマルチ敷いたりするとき、どうしてもまたぐことはあるけどね。⑤(作業中おしゃべりしない方がいいですよ?)それはそうだけど、一畝終わったら、ちょっと休んで話したくもなるよね。⑥『明日3人』なんて、援農依頼するのは、雨の前日に種まきや定植をしたいから。『もっと早めと言ってほしい』と思うでしょうが、ご理解お願いします。

(聞きとり 佐藤瑞恵、飛田恵美子)